「なんと簡単な事！」 2017 07 09

マタイ11: 16-19, 25-30 Pr. H. Adachi

天の父からの恵みと平安が集まった皆様の心の中に豊かに注がれますように！

今日は三つの質問からはじめたい。まず一つ目、みなさんの中に聖書を自分の家に持っているという方？　現代はコンピュータの時代、あるいはクラウドの時代とも言えるので、コンピュータ、タブレット、スマートフォンなどをもっていて、インタネットにアクセスして聖書を読めるという方も含めたい。　願わくば、全員手があがってほしい。

二番目の質問、どのような形で聖書を読むにしろ、聖書に書いてあることは本当に難しいと感じる方どれくらいいるだろうか？　もちろん、読まなければ、むずかしいか簡単かはわからないわけだが。。

次の質問には、ぜひ正直になってほしい。家の中に聖書がどこにあるかを見つけるのが難しいという方、あるいはコンピュータはあるが、インタネットを介して聖書をコンピュータ上に表示などをさせたことがない方はどれくらいいるだろうか？

いま三番目の質問に対する答えが「はい、」の方、どうぞ心配しないでほしい。聖書を読むより、何かについて思いをめぐらす方が良いと思う時もおとずれる。というのは、私の尊敬する牧師の一人である立野牧師が、この教会で説教した際、次のような話をしていたことを紹介したい。

彼は日本福音ルーテル教会の神学校で学んでいるとき、牧師になろうかどうしようか悩んだ。その際に達した結論は、聖書は教育上よろしくない本だと考えたそうだ。そして、日本の駅には、よく子供への教育上適切ではない本、大人向けの雑誌等を捨てる箱がおいてあるが、その箱に、聖書を投げ入れてしまったそうだ。

本日与えられている福音書箇所について触れていきたい。　さきほど、Deacon に読んでいただいたが、特に、最後の三節い以外は、なにが書いてあるか正直わかりにくいというのが、多くの皆さんの感想ではないだろうか？

聖書は旧約聖書と新約聖書からなっているが、すくなくとも旧約聖書では、天の父がいくら預言者をこの世に送っても、その預言者のことを聞けなかった多くの民がいた。それが人間の現実であり、預言者の言葉を神の言葉として聞けない歴史が旧約には書かれているため、聖書を難解にしている面は否めない。

旧約の時代から新約聖書の時代になっても、つまり長年待ち望んだ救い主、イエスキリストが世に生まれても、当時の頭の良い宗教指導者にとって、イエスが救世主などということは信じられなかった。

そのような状況を比喩的にあらわしているのは、子供が笛を吹いても宗教指導者たちは踊らない、葬式の歌を歌っても悲しまない、と描写されていた。また質素な生活をしていた洗礼者ヨハネのことは、悪魔にとりつかれていると言われ、イエスのことは、大食漢で大酒飲みと、当時の宗教指導者に言われてしまう。

イエスの言葉には、「これらのことを知恵ある者や賢いものには隠して、幼子のような者にお示しになりました。」とあった。当時の知恵ある者や賢い者というのは、旧約聖書に書かれていた「律法」を一生懸命学んでいたユダヤの指導者たちだろう。　その反対に、幼子とは、600 以上もある掟がある律法のことなどはまったくわからなかった幼子たちのことだろう。 では、賢い者たちには隠されてしまい、幼子たちに示された「これらのこと」とはいったい何のことを言っているのだろうか？

20世紀の神学者でもっとも有名とも言える、カールバルトという方がいる。彼は聖書の結論は、有名な子供賛美歌「主われを愛す」の中に歌われていると結論づけた。

神が、主なるイエスを送ってくださって、その主なる方は我々ひとりひとりを愛してくれている、それが一番大切な聖書のメッセージなのだ。それは、子供にはとてもわかりやすかった。

しかし、残念ながらそのもっとも大切なことは、知恵ある賢い者たちには隠されてしまった。というのは、聖書を一生懸命研究していた彼等は、数多くの律法を理解し、それに従うことこそ一番大切だと思っていたから。いつも、一生懸命聖書を読んでいる者には、キリスト教って、そんな簡単なことでよいのだろうか？　と思われてしまうかもしれない。

私の告白を聞いてほしい。正直に話すと、私は今日の説教の準備をするために、数週間前からこの箇所を何度も読んだ。　そして、先週の日曜の礼拝後、午後３時ごろから、なんども読み返して、按手を受けて7年を経たそれなりの経験のある牧師として、どうやって効果的な説教を皆さんに話せるのだろうかと悩み、日曜の夜はなかなか眠れなくなってしまった。月曜の朝になり午後３時になっても、どう説教してよいかわからなかった。

そして、眠くなってしまい「イエス様、どうしてよいかわかりません、おまかせします。」といって祈り、昼寝をした。すると、すーっとさわかなな風が吹いてきて、昼寝をした後の１－２時間で今日の説教は仕上がり、７月４日の独立記念日はおかげさまでゆっくりすることができた。

私はいつも英語と日本語で説教を用意するので、両言語でタイプをしなければならなかったが、その作業は実に簡単で、真に神が私を助けていることが実感できた。

今後、ぜひイエスが語っていた「私のくびきを負いなさい。私のくびきは負い易く、あなたは休息を得る」と語っていた事を覚えていてほしい。主はあなたがたひとりひとりを愛するがゆえに、くびきをあなたといっしょに負ってくださって、あなたが負い易くしてくださっている。アーメン。